

【1】 次の問いに答えよ。

(1) 「小学校（中学校）学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」（平成29年7月 文部科学省）における「第2章 道徳教育の目標」に関する記述のうち、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。（*は、中学校・特別支援学校中学部）

- ① 学校における道徳教育は、社会の変化に対応しその形成者として生きていくことができる人間を育成する上で重要な役割をもっている。
- ② 道徳科が学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の要としての役割を果たすことができるよう、計画的、発展的な指導を行うことが重要である。
- ③ 学校における道徳教育は、児童（*生徒）の発達段階を踏まえて行われなければならない。
- ④ 道徳科が目指すものは、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の目標と同様によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことである。
- ⑤ 各教科は、各活動における道徳教育の要として、それらを補ったり、深めたり、相互の関連を考えて発展させたり統合させたりする役割を果たす。

1

(2) 「小学校（中学校）学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」（平成29年7月 文部科学省）における評価に関する記述のうち、適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。（*は、中学校・特別支援学校 中学部）

- ① 道徳性の評価の基盤には、教師と児童（*生徒）との人格的な触れ合いによる共感的な理解が存在することが重要である。その上で、児童（*生徒）の成長を見守り、努力を認めたり、励ましたりすることによって、児童（*生徒）が自らの成長を実感し、更に意欲的に取り組もうとするきっかけとなるような評価を目指すことが求められる。
- ② 道徳科で養う道徳性は、児童（*生徒）が将来いかに人間としてよりよく生きるか、いかに諸問題に適切に対応するかといった個人の問題に関わるものである。このことから、小学校（*中学校）の段階でどれだけ道徳的価値を理解したかなどの基準を設定することがふさわしい。
- ③ 道徳性は、極めて多様な児童（*生徒）の人格全体に関わるものであることから、評価に当たっては、個人内の成長の過程を重視すべきではない。
- ④ 道徳性の諸様相である道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度のそれぞれについて分節し、学習状況を分析的に捉える観点別評価を通じて見取ろうとすることは、児童（*生徒）の人格そのものに働きかけ、道徳性を養うことを目標とする道徳科の評価として妥当である。
- ⑤ 道徳科の評価は、選抜に当たり客観性・公平性が求められる入学者選抜とはなじまないものであり、このため、道徳科の評価は調査書には記載してもよいが、入学者選抜の可否判定に活用することのないようにする必要がある。

(3) 「小学校(中学校)学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」(平成29年7月 文部科学省)「第3章 道徳科の内容」では、道徳教育の目標を達成するために指導すべき内容項目を、四つの視点から分類整理している。次の四つの視点A～Dと内容項目ア、イの適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

四つの視点

- A 主として自分自身に関すること
- B 主として人との関わりに関すること
- C 主として集団や社会との関わりに関すること
- D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

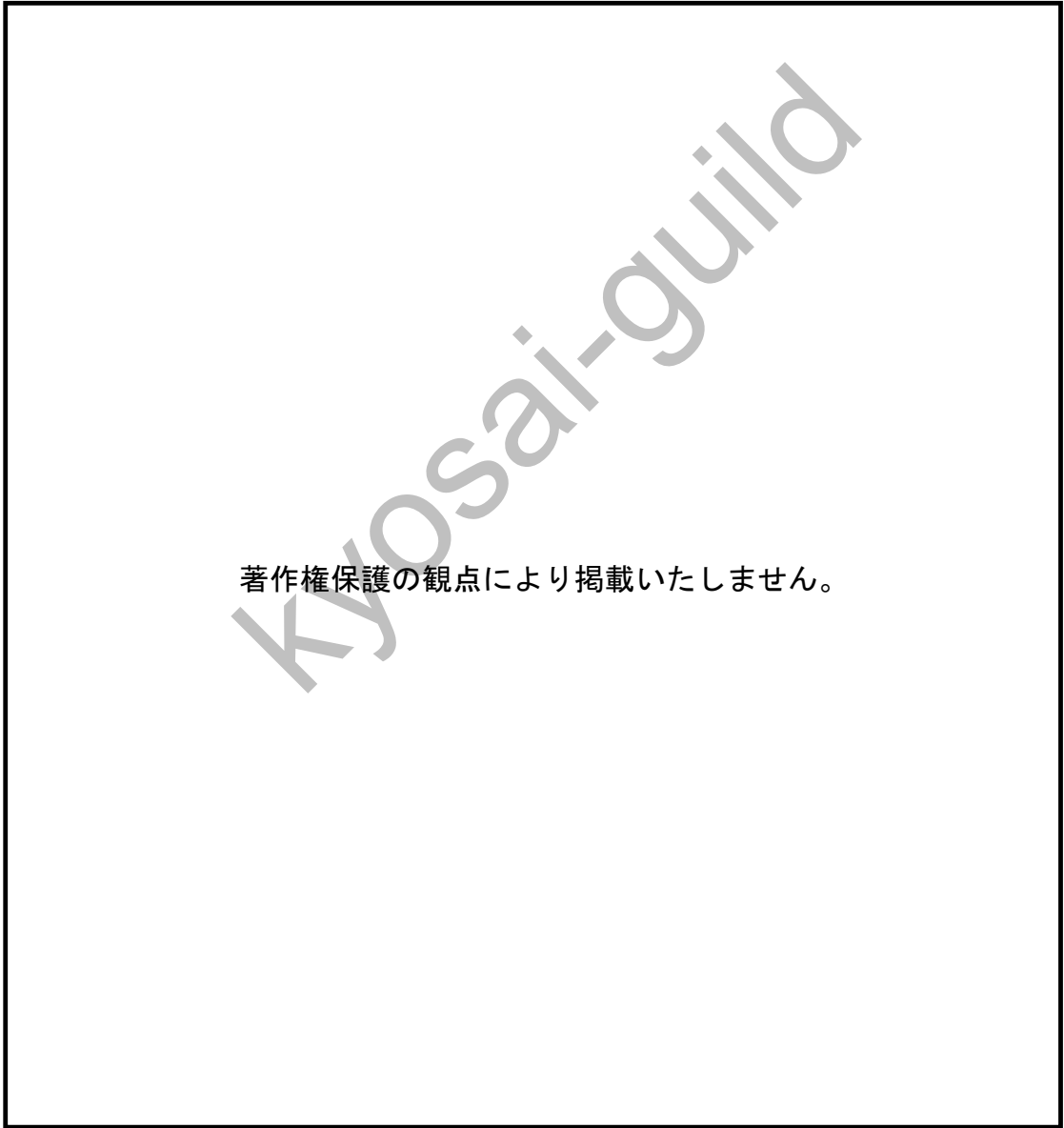
内容項目

ア 友情、信頼

イ よりよく生きる喜び

- ① アーA イーB
- ② アーB イーA
- ③ アーB イーD
- ④ アーC イーA
- ⑤ アーC イーD

【2】 次の楽譜はある歌唱教材である。下の問いに答えよ。



(1) この曲の作詞者を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 井上武士 ② 中村雨紅 ③ 高野辰之 ④ 葛原しげる ⑤ 岡野貞一

4

(2) この曲の作曲者が手がけた他の作品を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 虫のこえ ② さくらさくら ③ とんび ④ 春の小川 ⑤ こいのぼり

5

(3) □部の2番の歌詞を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① まつをいろどる
- ② みずのうえにも
- ③ やまのふもとの
- ④ なみにゆられて
- ⑤ あかやきいろの

6

(4) この曲の特徴として適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 三部形式で作曲されている。
- ② 4分音符と8分音符で構成されたリズムパターンが楽曲に統一感を与えている。
- ③ 三段目が最も音域が高く、盛り上がるように構成されている。
- ④ 我が国の自然の情景を描いた歌詞である。
- ⑤ 前半にカノン、後半では三度の重なりなどを取り入れ変化を付けている。

7

(5) この曲を用いて「情景を思い浮かべ、声部の役割を生かしながら合唱しよう」という題材名で、小学校第4学年で歌唱の授業を行う。題材の目標として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる音符、休符、記号や用語について、理解する。
- ② 創意工夫を生かした表現をするために必要な、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、範唱を聴いたり、へ長調の楽譜を見たりして演奏する技能を身に付ける。
- ③ 和音の響きやリズムの反復を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現を工夫することを通して、どのように歌うかについて発想を得る。
- ④ バランスよく合唱表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本の四季に親しむ。
- ⑤ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。

8

(6) 上記の題材で、学習活動として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 音色、リズム、速度、強弱、音の重なりなどに注意しながら聴奏する。
- ② 全休符について理解するために、カノン形式の他の曲を聴いたり歌ったりする。
- ③ 副次的旋律を聴唱し、旋律の流れやパートの関わり方を授ごとに確認する。
- ④ 曲全体を見通しながら、曲や演奏のよさなどについて考えをもち、曲全体を味わって聴く。
- ⑤ 少人数で二部合唱を練習し、つられずに歌えるよう大きな声を出すようにする。

9

【3】 次の楽譜はある歌唱教材である。下の問いに答えよ。

著作権保護の観点により掲載いたしません。

(1) この曲の作曲者の説明として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 東京生まれ。ドイツに留学。「箱根八景」など優れた作品を残している。
- ② 東京生まれ。山田耕柝に師事した後、ベルリンに留学。童謡運動に貢献した他、『和声学』を執筆した。
- ③ 東京生まれ。主な作品に「筑後川」などがある。随筆家としても活動。
- ④ 長野生まれ。作曲家、教育者、ヴァイオリニスト。「ゆりかごの歌」などの童謡の他、ヴァイオリン曲、歌曲を手掛けた。
- ⑤ 東京生まれ。「めだかのがっこう」などの童謡をはじめ、歌曲、合唱曲、ピアノ曲など数多くの作品を残した。

10

(2) この曲の強弱について、**A** および **B** にあてはまる適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① **A** *p* **B** *mp*
- ② **A** *mf* **B** *f*
- ③ **A** *mp* **B** *p*
- ④ **A** *p* **B** *pp*
- ⑤ **A** *mp* **B** *mf*

11

(3) この歌詞で歌われる場所がある都道府県名として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 北海道 ② 秋田県 ③ 栃木県 ④ 群馬県 ⑤ 長野県

12

(4) 次の歌詞を歌う箇所に該当するピアノの伴奏を①～⑤から選び、番号で答えよ。

はなのなかに そよそよと

①

②

③

著作権保護の観点により掲載いたしません。

④

⑤

(5) 「情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう」という題材名で、中学校で歌唱の授業を行う。学習活動として適切でないものを①～⑤から二つ選び、それぞれ番号で答えよ。

- ① 伴奏を聴いてリズムの変化を知覚し、それがどのような効果を生み出しているのかについて考え、発表する。
- ② 正しい発声法が身に付くまで学級全体で発声練習を繰り返して行う。
- ③ 歌詞を音読したり歌ったりして、歌詞の表す情景や心情、曲の雰囲気などについて発表し合う。
- ④ 音のつなげ方やフレーズの捉え方、強弱などを変えて様々に歌い試しながら、曲にふさわしい歌唱表現について考える。
- ⑤ 主旋律を正しく歌うために、繰り返し楽器で演奏する。

14	15
----	----

(6) 「言葉を大切に歌う」際に留意すべきこととして適切なるものを①～⑤から二つ選び、それぞれ番号で答えよ。

- ① 聴いている人たちに歌詞の内容がよく伝わるように一音一音を強調してはっきり歌う。
- ② 「が行」はいつも鼻濁音で、子音を鼻に柔らかく響かせるように歌う。
- ③ 日本語の語感を生かすために、我が国の伝統的な声や歌い方の特徴を感じ取って歌う。
- ④ 歌詞の詩情を味わいながら子音や母音の発音を工夫する。
- ⑤ 言葉のまとまりや抑揚を意識しながら歌う。

16	17
----	----

【4】 次の問いに答えよ。

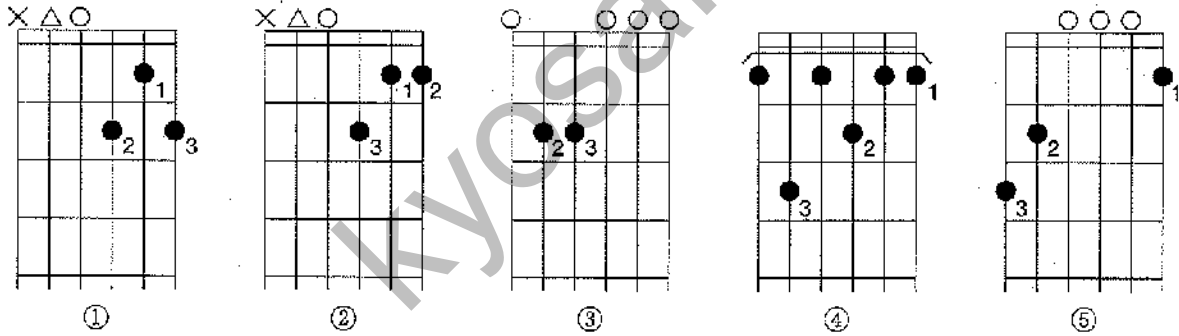
(1) 次の文は、ギターに関する説明の一つである。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

複数の弦を左手の人さし指で同時に押さえること

- ① ブリッジ ② セーハ ③ カポタスト ④ フレット ⑤ フィンガーボード

18

(2) G₇のコードを演奏する際のダイアグラムを①～⑤から選び、番号で答えよ。



19

(3) 次の文章A～Eのうち、リコーダーについての説明文として適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- A チューニングの際、音を低くしたい場合はジョイント部を差し込む。
- B ポルタート奏法をする場合、息の流れを切らずに、1音ずつタンギングをしながら滑らかに演奏する。
- C ソプラノリコーダーの最高音はフルートと同じである。
- D 楽器が温まるとピッチが高くなるため、あらかじめ手や息で楽器を温めておく。
- E 指番号は親指が0、人さし指が1、中指が2、薬指が3、小指が4である。

- ① A・C ② B・D ③ C・E ④ A・D ⑤ B・E

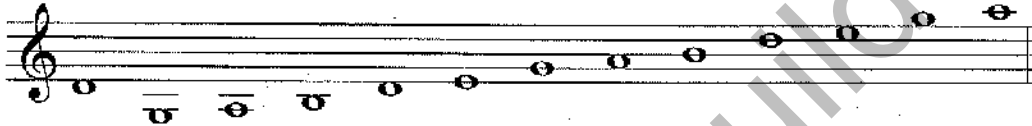
20

(4) リコーダーを演奏する際の留意点について、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① タンギングの瞬間の息の強さと、その後の息の強さが同じになるようにする。
- ② 美しい音を出すためには、肩や腕の方を抜いたり、腹式呼吸を用いたりする。
- ③ 低い音は口の中の空間を狭くしてスピード感のある息で吹くようにする。
- ④ 歌うときと同じように鼻や口、喉などに響かせるイメージをもつようにする。
- ⑤ 柔らかい音を出すときには、「di」や「do」などの発音のタンギングをするとよい。

【5】 次の問いに答えよ。

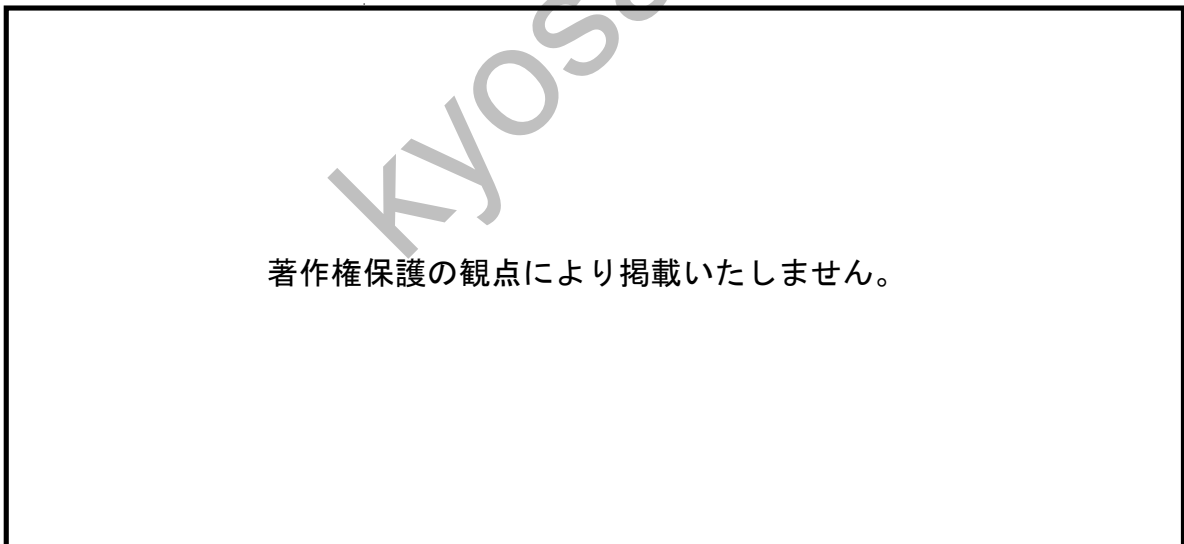
(1) 次の楽譜で示した等の調弦の名称を①～⑤から選び、番号で答えよ。



- ① 乃木調子 ② 二上り ③ 三下り ④ 平調子 ⑤ 都節音階

22

(2) 次の写真の矢印で示された箇所を①～⑤から選び、番号で答えよ。



- ① 磯 ② 竜角 ③ 竜甲 ④ 柱 ⑤ 雲角

23

(3) A～Eのうち、演奏に三味線が使用されないものの適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- A 雅楽(管絃) B 歌舞伎 C 文楽 D 民謡 E 能・狂言

- ① A・B ② C・D ③ B・D ④ A・E ⑤ B・C

24

(4) 三味線において、左手で糸を押さえる正しい位置のことを何というか。①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 乳袋 ② サワリ ③ 勘所 ④ 駒 ⑤ 継ぎ手

25

【6】 次の楽譜と文章について、下の問いに答えよ。



この曲は（ア）が船上で行われるパーティーのために作曲したとされる、（イ）の中の一曲である。

この曲のタイトルは（ウ）に由来する。

(1) (ア)～(ウ)にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① (ア) バッハ (イ) 管弦楽曲 (ウ) 舞曲
- ② (ア) バッハ (イ) 交響曲 (ウ) 楽器
- ③ (ア) ヘンデル (イ) 管弦楽曲 (ウ) 楽器
- ④ (ア) ヘンデル (イ) 交響曲 (ウ) 舞曲
- ⑤ (ア) ヘンデル (イ) 管弦楽曲 (ウ) 舞曲

26

(2) この曲では二つの楽器のかけ合いが大きな特徴となっている。この二つの楽器の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① オーボエとフルート
- ② トランペットとホルン
- ③ ヴァイオリンとヴァイオラ
- ④ ファゴットとオーボエ
- ⑤ トロンボーンとホルン

27

(3) この曲はA-B-Aの形式になっている。Bの部分の特徴として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 短調である。
- ② 速度がA部よりも遅くなっている。
- ③ 弦楽器のみで演奏される。
- ④ 拍子がA部と異なる。
- ⑤ フーガになっている。

28

(4) 「楽器の音色の違いを感じながら、旋律のかけ合いや重なるの面白さに気付こう」という題材名で小学校で鑑賞の授業を行う。学習活動として適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 主な旋律が繰り返し演奏されることに気付くよう、冒頭部分の旋律を口ずさみながら聴く。
- ② 呼びかけ合う二つの楽器を知り、それらの演奏の真似をしながら聴く。
- ③ 呼びかけとこたえに注目して聴き、主な旋律が再現されることに気付く。
- ④ 旋律の感じが大きく変わる部分を聴き、主な旋律を中心とする部分との違いについて考える。
- ⑤ 呼びかけとこたえを用いた既習曲を使って、歌い方や演奏の仕方を工夫する。

29

【7】 次の楽譜と文章について、下の問いに答えよ。

著作権保護の観点により掲載いたしません。

この曲の作曲者は（ア）で作曲とピアノを学び、作曲家や指揮者として活躍した。当時、この作曲者が生まれた国は他国からの強い統治下であり、母国語を話すことさえ禁じられていた。（イ）として作曲されたこの曲は祖国への思いに満ちており、このような思いをもとに作曲した作曲家を国民楽派という。

(1) (ア)、(イ) にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① (ア) ウィーン (イ) 交響曲
- ② (ア) プラハ (イ) 連作交響詩
- ③ (ア) パリ (イ) バレエ音楽
- ④ (ア) ウィーン (イ) 連作交響詩
- ⑤ (ア) プラハ (イ) バレエ音楽

30

(2) 下線部ウの音楽についての説明文として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① ドイツ・ロマン派の音楽を土台として、各国の民族的な舞踊や音楽語法などを取り入れた作風である。
- ② 教会旋法や全音音階を用い、多彩な音色を追求した。
- ③ 対位法的な手法で作られており、曲のフレーズごとに調が確定する。
- ④ 計量記譜法が駆使され、複雑なリズムをもつ作品が作られた。
- ⑤ 調和や均整のとれた形式美を追求した。

31

(3) 楽譜A～Fは、作曲者が標題を与えた旋律の一部である。「ビシェフラトの動機」はどれか。①～⑥から選び、番号で答えよ。

- ① A ② B ③ C ④ D ⑤ E ⑥ F

32

(4) 楽譜AとDが楽曲内に登場する箇所として正しい位置はa～fのどれか。適切な組合せを①～⑤から
選び、番号で答えよ。

著作権保護の観点により掲載いたしません。

↓

a

↓

b

↓

c

↓

著作権保護の観点により掲載いたしません。

↓

d

↓

e

↓

f

① A : a D : d ② A : b D : f ③ A : c D : b

④ A : d D : e ⑤ A : f D : b

(5) 「曲想の変化に注目し、作曲者の思いを感じ取って音楽を味わおう」という題材名で、中学校第3学年で鑑賞の授業を行う。題材の目標として適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。
- ② 音楽を形づくっている要素について、音楽における働きと関わらせて理解するとともに、音楽のよさや美しさを味わって聴く技能を身に付ける。
- ③ 生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。
- ④ 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解する。
- ⑤ 音色、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考える。

34

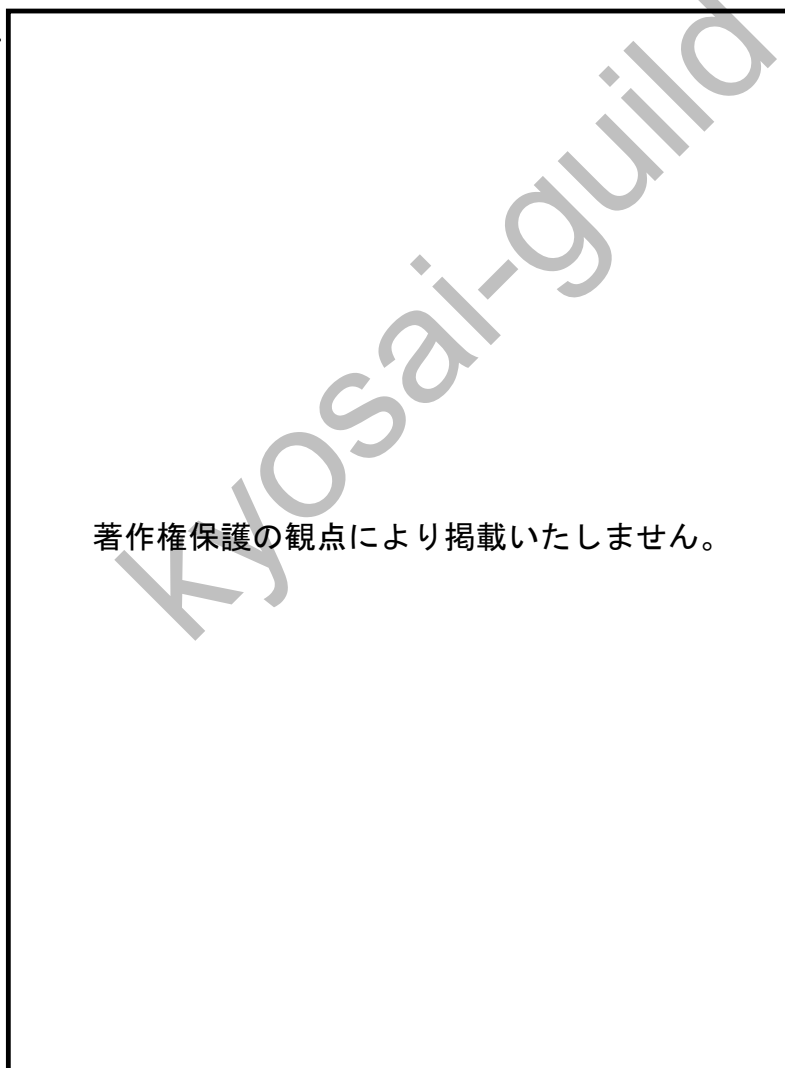
(6) 上記の題材を指導する際の留意点として適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 作曲された時代背景を知る際に、文化や歴史の知識を音楽の特徴と関わらせて理解できるようにする。
- ② 演奏の映像を視聴することによって各場面で中心的に使用されている楽器について着目させ、オーケストラについて理解を深められるようにする。
- ③ 場面ごとに収録された音源を用意し、個人やグループで何度でも聴くことができるようにする。
- ④ 必要に応じて旋律を階名唱したり指揮をしたりすることで、音楽の特徴を感じ取ることができるようにする。
- ⑤ 題材末に全曲を通して聴き、生活や社会における音楽の意味や役割について考えたことを批評文にまとめるよう促す。

35

【8】 次の問いに答えよ。

1. 次の楽譜について、下の(1)、(2)の問いに答えよ。



(1) この楽譜の名称を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 墨譜 ② 謡本 ③ 文化譜 ④ 床本 ⑤ 工工四

(2) この曲はどの音階でつくられているか。①～⑤から選び、番号で答えよ。

37

Ⅱ. 能及び雅楽について、下の(3)～(5)の問いに答えよ。

(3) 次の文は、ある作品のあらすじである。前シテと後シテの面の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

蓮生法師(ワキ)が一の谷の戦いで討ち果たした平敦盛を弔うために須磨の浦を訪れると、草刈男(前シテ)が現れ、敦盛の化身であることをほのめかして去っていく。
 夜、敦盛を弔っていると敦盛の亡霊(後シテ)が現れ、平家一門の盛衰を語り、合戦前の酒宴を思い出して舞い、また戦いの有様を再現する。最後は蓮生に供養を頼み消え去る。

- ① 前シテ：十六 後シテ：般若
- ② 前シテ：小面 後シテ：大癒見
- ③ 前シテ：大癒見 後シテ：直面
- ④ 前シテ：般若 後シテ：小面
- ⑤ 前シテ：直面 後シテ：十六

38

(4) 能の地謡の説明文として適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- A 客席から見て正面、舞台の後列に配置される。
- B 5人を基本とする編成で、複数の音高でハーモニーを奏でることもある。
- C 主に情景や進行の描写の語りを担当するが、登場人物の心情を描写することもある。
- D 前後二列に並んで座り、リーダーは後列中央に座る。
- E 演奏の進行に合わせて、「ヤ」「ハ」などの合いの手を挟む。

① A・B ② C・D ③ A・E ④ B・C・D ⑤ A・D・E

39

(5) 次の文は、雅楽で使われる楽器の説明である。適切な楽器名を①～⑤から選び、番号で答えよ。

鹿草を巻いた木製のばちで太鼓の片面を打つ。音楽の区切りを知らせる役割をもつ。

① 楽太鼓 ② 鉦鼓 ③ 笙 ④ 鞆鼓 ⑤ 箏

40

【9】 次の楽譜はある音楽を採譜したものである。楽譜と次の文章について、下の問いに答えよ。

著作権保護の観点により掲載いたしません。

楽譜は今日のトルコに伝わる（ア）の音楽である。（ア）の音楽は、Aズルナをはじめ、ラッパ、太鼓、金属の鳴物などで演奏される（イ）である。この音楽は18世紀初頭にはヨーロッパで広く知られるようになり、多くのヨーロッパの音楽家にインスピレーションを与えた。

(1) (ア) にあてはまる語句を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① ケチャ ② カッターリー ③ セマー ④ コーン ⑤ メヘテルハーネ

41

(2) (イ) にあてはまる語句を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 舞踊劇 ② 宗教歌謡 ③ 軍楽 ④ 合唱 ⑤ 民衆芸能

42

(3) 下線部Aと同じ発音機構をもたない楽器を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 箏 ② バグパイプ ③ オーボエ ④ イングリッシュホルン ⑤ 笙

43

(4) この音楽から影響を受けている作品を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 歌劇「オルフェオ」
② 歌劇「後宮からの誘拐」
③ 管弦楽組曲第2番ロ短調BWV. 1067
④ 幻想交響曲
⑤ 交響曲第1番ニ長調「巨人」

44

【10】 次の問いに答えよ。

(1) 次の文は、「高等学校学習指導要領」(平成30年告示 文部科学省)における「第2章 第7節 芸術 第1 音楽I 2 内容 A 表現 (3) 創作」に関する記述の一部である。()にあてはまる適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、()と関わらせて理解すること。

- ① 表したいイメージ ② 創意工夫 ③ 文化的・歴史的背景 ④ 知識や技能
⑤ 音楽を形づくっている要素

45

(2) 次の文は、「小学校学習指導要領」(平成29年告示 文部科学省)における「第2章 第6節 音楽 第3 指導計画の作成と内容の取扱い」に関する記述の一部である。(A)、(B)にあてはまる適切なものを①～⑤から一つずつ選び、番号で答えよ。

(6) 低学年においては、第1章総則の第2の4の(1)を踏まえ、(A)等との関連を積極的に図り、指導の効果を高めるようにするとともに、幼稚園教育要領等に示す幼児期の終わりまでに育ってほしい姿との関連を考慮すること。特に、小学校入学当初においては、生活科を中心とした(B)な指導や、弾力的な時間割の設定を行うなどの工夫をすること。

(A)

- ① 児童 ② 他教科 ③ 学習活動 ④ 指導方法 ⑤ 言語活動

46

(B)

- ① 主体的 ② 音楽的 ③ 合科的・関連的 ④ 計画的 ⑤ 組織的

47

- (3) 次の文A～Eは、「中学校学習指導要領」(平成29年告示 文部科学省)「第2章 第5節 音楽 第2各学年の目標及び内容 第1学年 2 内容 A 表現」に関する記述の一部である。器楽についての記述として適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

A	イ 次の(ア)から(ウ)までについて理解すること。 (イ) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わり
B	イ 次の(ア)及び(イ)について、表したいイメージと関わらせて理解すること。 (イ) 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴
C	ウ 次の(ア)及び(イ)の技能を身に付けること。 (ア) 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能
D	ウ 次の(ア)及び(イ)の技能を身に付けること。 (ア) 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能
E	イ 次の(ア)及び(イ)について理解すること。 (ア) 曲想と音楽の構造との関わり

- ① A・B ② A・C ③ B・D ④ C・D ⑤ C・E

48

- (4) 次の文は、「中学校学習指導要領」(平成29年告示 文部科学省)「第2章 第5節 音楽 第2各学年の目標及び内容」より[共通事項]に関する記述の一部である。()にあてはまる適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

イ 音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる用語や記号などについて、音楽における()と関わらせて理解すること。

- ① 知識や技能 ② 働き ③ 背景 ④ 構造 ⑤ 共通性や固有性

49

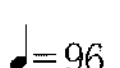
- (5) 次に示した用語・記号のうち、「小学校学習指導要領」(平成29年告示 文部科学省)で示されていないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

① *ff*

② 

③ 

④ 

⑤ 
(速度記号)

50

(6) 次の文は、「中学校学習指導要領」(平成29年告示 文部科学省)「第2章 第5節 音楽 第3 指導計画の作成と内容の取扱い」に関する記述の一部である。()にあてはまる適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

(5) 読譜の指導に当たっては、小学校における学習を踏まえ、 \sharp や \flat の調号としての意味を理解させるとともに、3学年間を通じて、()程度をもった調号の楽譜の視唱や視奏に慣れさせるようにすること。

- ① $2\sharp, 1\flat$ ② $1\sharp$ ③ $3\sharp, 2\flat$ ④ $1\sharp, 1\flat$ ⑤ $2\sharp, 2\flat$

【11】 次の文を読み、下の問いに答えよ。

現代につながるヨーロッパの音楽は中世の音楽に発する。キリスト教の聖歌であるグレゴリオ聖歌から（ア）が発達し、ルネサンス時代に全盛となる。聖歌の唱法として階名唱法が誕生した。

A フランツ・リストに代表されるロマン派の時代の最中、B 1889年の第4回パリ万国博覧会で紹介されたアジアの音楽はヨーロッパの多くの作曲家に影響を与え、新たな潮流を生みだすきっかけとなった。この万国博覧会では各国の文化活動の一つとして音楽も紹介されており、クロード・ドビュッシーは（イ）等の非西洋的な音楽に触れ、やがて既成の音楽観や形式に捕らわれない独自の音楽語法を生み出し、現代音楽への道をひらいた。

20世紀に入り第一次世界大戦を経験したヨーロッパでは、様々な作曲思想、技法が生まれた。一つはストラヴィンスキーの「C *バッハに帰れ」という言葉が示すように、過去の形式や様式を回顧する（ウ）である。また（エ）は十二音技法を生み出し、それは第二次世界大戦後にセリー音楽へと発展していく。

(*はJ.S.バッハを指す)

(1) (ア)にあてはまる適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 和声音楽 ② 多声音楽 ③ 標題音楽 ④ 絶対音楽 ⑤ 典礼音楽

52

(2) 下線部Aの作曲家が手がけた楽曲として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

①

②

③

著作権保護の観点により掲載いたしません。

④

⑤

53

(3) 下線部Bについて、この年の日本の音楽に関する出来事として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 歌謡曲の流行 ② 文部省初の音楽専修生の留学 ③ 新日本音楽の誕生
④ 長唄「吾妻八景」の初演 ⑤ 宮内庁式部職楽部の設置

54

(4) (イ) にあてはまる適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① サンジョー ② ジンジュ ③ スーシューエエ ④ ガムラン ⑤ オルティンドー

55

(5) 下線部Cの作曲家と同時代に活躍した作曲家として適切でない人物を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① リュリ ② パーセル ③ バレストリーナ ④ グルック ⑤ コレッリ

56

(6) (ロ) にあてはまる適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 新古典主義 ② 原始主義 ③ 新ロマン主義 ④ 表現主義 ⑤ 象徴主義

57

(7) (エ) にあてはまる適切な人物を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① メシアン ② オルフ ③ ショスタコーヴィチ ④ シェーンベルク ⑤ ベリオ

58

【12】 次の楽譜を見て、下の問いに答えよ。



(1) 譜例の[A]の第三拍目の音を構成音とする和音の種類は何か。①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 長三和音 ② 減三和音 ③ 短三和音 ④ 減七の和音 ⑤ 長七の和音

59

(2) 譜例第2段目の矢印(↓)で示された音は非和声音である。その種類を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 先取音 ② 掛留音 ③ 倚音 ④ 逸音 ⑤ 刺繍音

60

(3) この曲は譜例第2段目から転調している。第1段目と第2段目の調の関係として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 平行調 ② 同主調 ③ 属調 ④ 属調の属調 ⑤ 下属調

61

(4) 譜例の[B]と同じ意味をもつ楽語として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① scherzando ② vivo ③ risoluto ④ pastorale ⑤ comodo

62

(5) 譜例の[C]の小節の音を構成音とする和音が所属する調はいくつあるか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 一つ ② 二つ ③ 三つ ④ 四つ ⑤ 五つ

63

【13】 次の問いに答えよ。

(1) 次の条件で旋律を創作をする。条件を正しく満たしているものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

条件1 第2小節は第1小節のリズムを反復する。
 条件2 第5、6小節は第1、2小節のリズムを反復する。
 条件3 第3、4小節および第7、8小節はリズムを変化させ、反復を用いない。

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

(2) 「音のつながり方の特徴を生かして旋律をつくろう」という題材名で、中学校第1学年で創作の授業を行う。目標として適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付ける。
- ② 音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解する。
- ③ 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるためにふさわしい作曲技法を身に付ける。
- ④ 音のつながり方の特徴に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習活動に取り組む。
- ⑤ 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、創作表現を創意工夫する。

教科名 (中高 音楽) (120点)

マーク 番号	解答	配点	備考	マーク 番号	解答	配点	備考
1	⑤	2		31	①	1	
2	①	2		32	③	2	
3	③	2		33	④	2	
4	③	1		34	②	2	
5	④	1		35	②	2	
6	⑤	1		36	⑤	2	
7	①	2		37	④	2	
8	⑤	2		38	⑤	2	
9	③	2		39	②	2	
10	⑤	1		40	①	2	
11	③	1		41	⑤	2	
12	④	1		42	③	2	
13	④	2		43	⑤	2	
14	②	2		44	②	2	
15	⑤	2	順不同	45	①	2	
16	④	2	順不同	46	②	2	
17	⑤	2		47	③	2	
18	②	2		48	⑤	2	
19	⑤	2		49	②	2	
20	②	2		50	①	2	
21	③	2		51	④	2	
22	①	2		52	②	2	
23	②	2		53	③	2	
24	④	2		54	②	2	
25	③	2		55	④	2	
26	⑤	1		56	③	2	
27	②	2		57	①	2	
28	①	1		58	④	2	
29	⑤	2		59	④	2	
30	②	1		60	③	2	

教科名 (中高 音楽) (120点)

マーク 番号			備考	マーク 番号	解答	配点	備考
61	③	2		91			
62	②	2		92			
63	④	2		93			
64	⑤	2		94			
65	③	2		95			
66				96			
67				97			
68				98			
69				99			
70				100			
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							